

新年を迎えて

新しい年を迎えました。2026 年が、皆さんにとって充実した一年となることを願っています。2 年生として過ごす時間も残り 3 か月余り。4 月に新しいクラスで迎えたスタートから、日々の学校生活や学校行事、そして毎日の授業や仲間との関わりを通して、皆さんは確実に成長してきました。改めて、その歩みを一人ひとりが振り返り、次のステージに向けて気持ちを整える時期がやってきました。

今年度を振り返ると、特に印象的だったのは、11 月に実施された職場体験学習です。慣れない環境の中で自分の役割を果たそうと真剣に向き合う姿、仲間と支え合いながら仕事を進める姿に、大きな成長を感じました。多くの生徒が、「働くことの大変さとやりがいを知った」「感謝の気持ちを実感した」と感想を述べてくれました。この経験は、決して一時的なものではなく、これからの進路選択や人生の判断に生きる大切な財産になるはずです。

そして、2 年生の大きな節目として 2 月には立志式が予定されています。「志」とは、単なる夢や希望ではなく、努力し続ける覚悟を持った目標のことです。他の誰でもない、自分自身の人生をどう生きるかを考える時間です。式では、多くの方々に支えられてきた自分を見つめ直し、これからの道へ向けて決意を言葉にしていきます。緊張するかもしれませんが、真剣に向き合えば向き合うほど、皆さんの未来は力強いものになります。

新しい年の始まりは、気持ちを切り替える良い機会です。今、皆さんの目の前には、学年の締めくくりと、3 年生へのスタートラインという二つの意味が同時に存在しています。勉強面でも、今の学習内容は来年度の受験につながる重要な基盤です。「まだ大丈夫」「そのうちやる」と先延ばしにせず、日々の積み重ねを大切にしてください。できることを一つずつ確実に積み上げた人だけが、本当に自信を持って次の学年を迎えられます。

2026 年、皆さんはどんな姿でいたいですか。目標を達成した自分、仲間とともに成長した自分、挑戦し続けた自分。未来の姿を思い浮かべながら、今日一日を大切に積み重ねていきましょう。残りの日々を、仲間とともに、自分の力で切り開いてください。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

12月の学校風景



SASA (福井県学力調査)



弁護士による「いじめ防止授業」



こんにちは先輩

1月の生活

今月の生活目標：進路や将来を見すえた新たな目標に向けて努力しよう

1. 目標を立てよう

「一年の計は元旦にあり」と言いますが、学校生活や学習において、自分の目標はすでに立てましたか？「2年生の間に〇〇を克服する」「〇月までに〇〇ができるようにする」など具体的な目標を立てましょう。そして、それを実現するために必要なことを、毎日一つでも、短時間でもいいので実践していきましょう。必ず1年後に「がんばってよかった」と思えます。

2. 「はじめ」ある行動を心がけよう

立志式を控え、自分の言動が「大人」に近づいているか考えてみましょう。授業中の話す態度、聴く態度は休み時間のものと区別できていますか？また、目上の方に対して適切な言葉づかいができていますか？これらのことは、社会人基礎力として大切だということは、職場体験学習でも実感したはずです。幼様な言動を改め、自分で「はじめ」をつけた言動ができるようになりましょう。

3. 健康管理をしっかりしよう

冬はインフルエンザや胃腸炎など、感染性の病気が流行しやすい時期です。新型コロナウイルス感染症もなくなったわけではありません。病気に負けない体を作るために、運動・栄養・休養（睡眠）の三本柱を中心に、生活リズムを整えましょう。

4. 交通安全に気をつけよう

気温が下がり、路面が凍結したり、雪が積もったりすると、登下校の道路の条件が悪くなります。「車は止まるだろう」と考えずに、念には念を入れて安全面には留意していきましょう。特に雪の日は登校時刻が遅くなりがちです。天候を考慮して、余裕をもって登校しましょう。安全第一です！

教育相談より

今月のスクールカウンセラー来校日

■1月13日（火） ■20日（火） ■27日（火）

面談の希望がある方は、学校までお知らせください。 学校 Tel ☎ 41-1311

1月の学習

集中力が切れたら、窓を開けよう

冬休み、これまでの学習内容を確実に理解するために自主学習に取り組めたいでしょうか？学習や部活動、様々な活動に集中して取り組んでいると、集中がきれるタイミングがあると思います。そんな時は、窓を開けて換気をすることをおすすめします。人間の集中力には、「気温」と「空気中のCO₂濃度」が関係しています。一説によると、集中力が持続しやすい気温は23℃～26℃であり、CO₂濃度も800ppm以下が望ましいそうです。

集中力が持続していない環境では、学習に限らず、何をしてもパフォーマンスが落ちてしまいます。最適な環境を自分で作って、効率的に学習に取り組むことが大切です。是非実践してみてください。



○人権週間の取り組みより○

12月4日から12月10日は、人権週間です。本校でもこの人権週間にあわせて人権作文を読んだり、人権集会で「どうしたらいじめを止めることができるか」について考えたりしました。

〔人権作文『悪口』を読んで〕

・いつも先生が言っている、その人がいないところでその人の話をしないということの大切さがわかりました。一人のことをみんなで話していても、行きすぎると「いじめ」になるのだと改めて認識しました。私も時々、その人がいないところでその人の話をしてしまうことがあるので、これから直していきたいです。また、友達が近くで言っていたらすぐに止められるようにしたいです。

・相談のつもりがどんどんエスカレートして、知らないうちに悪口に発展していることがあるとわかりました。その場の空気に流されて深く考えずに行動してしまうということが分かったので、自分もしっかり考えて行動したいと思いました。

・作文を読んで共感するところがありました。空気が読めない人と思われぬように、周りに意見を合わせるなど、同じ反応をすることがあります。周りにあわせるのではなく、自分の意見をもつことが大切だと改めて実感しました。悪口を言っているときに自分から「やめようや」と止めに入ることができたのはとてもすごいことだと思いました。

〔人権集会の感想より〕

・加害者にも傍観者にも観衆にもならず、声をかけてあげる、寄り添ってあげる、話を聞いてあげるなど被害者のことを思った行動をします。いじめている本人に直接言うのが一番だけれど、難しかったら相談して「小さなNO」を少しずつ増やしていこうと思います。

・ちょっとした裏での悪口や隠し事がいじめに繋がると思うので、友達と遊んでいる時にその話で盛り上がってしまったら「やめよう」と一言かけることをしたいです。苦手だなと思った人でも受け入れる、無理には近づかなくてもいいから、その人だけ特別扱いしない、もし自分がターゲットにされた時は、必ず頼れる人に打ち明けて相談するなどの行動をしたいと思います。

・自分はいじめている側だと思わなくても被害者からすると観衆や傍観者も加害者の仲間だということを知りました。自分も今までやってしまったことがあると思ったので、これからいじめの加害者にならないように気をつけたいと思いました。また、実際にいじめを見たら止めたいし、自分で止められなかったら大人に知らせることで被害者の人の役に立ちたいです。傍観者になる前に止められるようにしたいです。

保護者の方々の声

特に記載するご意見等は、ありませんでした。

家庭通信欄♪

「家庭通信欄」をQRコードで答えることができます。学年便りの感想、学校への質問、要望事項などがありましたらお書きください。保護者の方のお手元に届いたかどうかを確認したいと思いますので、特記事項がない場合にも「見ました」で結構ですので記入していただき、ご提出くださるようお願いいたします。

※紙面作成の都合上、毎月20日までに入力ください。

